



白山市立博物館企画展

農村画家 藤井信之

― 農村風俗画の世界 ―

平成29年4月14日（金）から6月11日（日）まで企画展「農村画家 藤井信之―農村風俗画の世界―」を開催します。

藤井信之の農村画は素朴なタッチが親近感を感じさせる画風で、主に作者が青年の頃の大正・昭和の農作業や風俗・習慣などが描かれています。

水彩画自体も当時記憶をもとに細かく描写しており記録性の高いものですが、それぞれの絵に付された文章が当時の情景を彷彿とさせ、その価値を高めています。今回、白山市が所蔵する作品を一堂に展示するのは約10年ぶりとなります。

農作業を中心に祭りや行事、冬期間の生活風景など61点と絵に描かれた農具等も展示します。

（関連記事 2ページ）

contents

■ 白山市立博物館 平成29年度 企画展 「農村画家 藤井信之―農村風俗画の世界―」案内	1
■ 白山市立博物館 平成28年度企画展	4
■ 白山市立博物館 平成28年度イベント	9
■ 平成29年度 文化施設行事予定等	10

企画展

農村画家 藤井信之

―農村風俗画の世界―

平成29年4月14日(金)

6月11日(日)

白山市立博物館に篤農家 藤井信之が農村の生活・習俗などを描いた水彩画(以下「農村画」という)が61点が収蔵されています。

藤井信之の農村画は画集が出版され、松任市立博物館で藤井信之の回想展(平成三年)が開催されたほか、『農村絵巻 土地に生きる歓び』(松任市役所)が刊行されるなど白山市ではよく知られています。

藤井信之は明治37年(1904)石川県旭村福増(現白山市)に生まれました。旭村は手取川扇状地に位置し元来、稲作が盛んな地域でした。大正8年(1919)旭小学校を卒業後、家業の農業に従事します。昭和

17年(1942)には和牛の導入・

施肥使用による水田活性化をはか

り、食糧の増産に功労があつたとし

て総理大臣賞を受賞しました。同18

年頃から篤農家「早農林の藤井」と

して著名になり、県内各地に講師と

して招かれるようになります。昭和

42年頃まで約50年にわたり米作りに

励みました。絵を描き始めたのは昭和

41年頃からといわれ、農耕生活の

思い出を描き続けました。同52年、

NHK「明るい農村」に「農を描く」

に出演。同55年には松任市産業文化

賞を受賞しました。同59年、画集『土

に生きる歓び』が出版され、翌60年

には画集が再版されるとともに石川

県文化活動奨励賞を受賞しました。

同61年、北國風雪賞を受賞。平成2

年(1990)8月20日、86才にて

逝去されました。

主な作品は画集『土に生きる歓び』

に収載されています。画集は第一部

「農事」、第2部「風俗と生活」、第

3部「子供」にわけ、2006点が掲

載されており、画集の後記において

「年老いて息子に農業を継いで貰っ

てから老いの徒然に、画筆を愉しむ

ようになりました。しかし画と言っ

ても、ほんの色紙に淡彩で寸描する

程度のものでした。自分の臉に残る

少年時代の追憶や泥ンコになつて働

いた田圃仕事の辛さ等を記録画とし

て、吾家に遺そうと描き続けたので

した。」と自身の画業について記し

ています。

北國風雪賞受賞のときの新聞記事

によれば生涯で600点以上の絵を

描いたとしています。素朴なタッチ

が親近感を感じさせます。水彩画自

体も当時記憶をもとに細かく描写し

ており記録性の高いものですが、そ

れぞれの絵に付された文章が当時の

情景を彷彿とさせ、その価値を高め

ています。

藤井信之の農村画は当博物館でも

何度か展示してきました。今回は平

成18年に開催した企画展「藤井信之

展」以来、約10年ぶりに収蔵品61点

を一堂に展示するのに加えて、絵に

描かれる民具の一部もあわせて展示

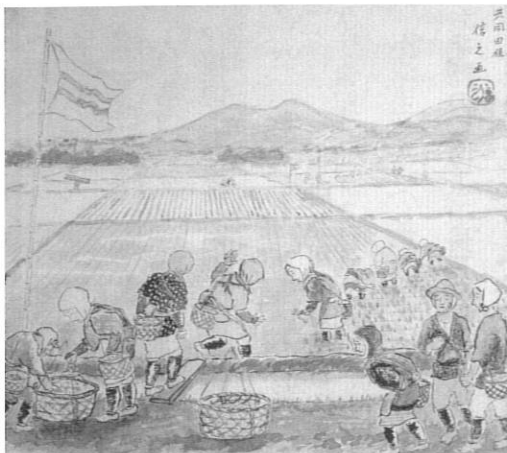
します。

この機会に藤井信之の農村画の世

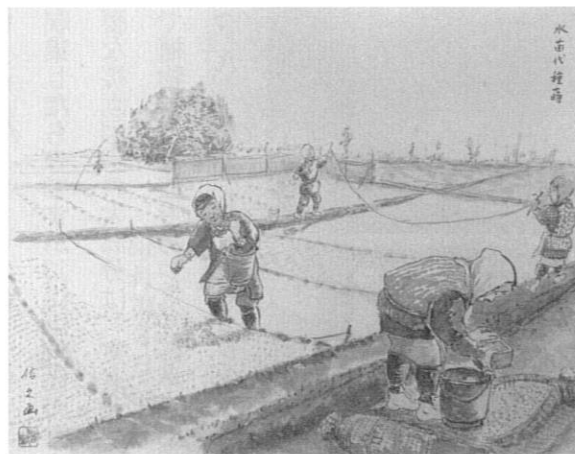
界をお楽しみ下さい。

No.	作品名	No.	作品名
1	七ヶ用水取入口の人夫	32	稲を運ぶ人々
2	仕事始	33	落穂拾い
3	左義長の勸め	34	稲運び
4	肥汲み	35	千歯の稲扱き
5	春雪	36	黍
6	「鬼の顔」の午後	37	秋雨
7	汽車ボッポ	38	肥取り
8	水苗代の床づくり	39	番水
9	水苗代の種蒔き	40	俄雨
10	保温折衷苗代	41	落穂拾い
11	たばこ	42	年貢米
12	共同田植	43	霜の御影橋
13	早乙女の昼上り	44	白摺唄
14	晩霜	45	米の仕上げ
15	昼下り	46	仕上げ(米の調整)
16	蓑笠帽子(学童)	47	米の供出と厳しい検査
17	ざっこすき	48	秋祭りの旗本起こし
18	学校帰り	49	里の祭り
19	土に生きる歓び	50	芒刈り
20	田草取	51	お歳暮廻り
21	夕田上り	52	学校みちの雪除け
22	誘蛾灯	53	餅搗き
23	虫送り	54	膚ぼんぼ
24	虫送りの簀場	55	藁仕事
25	盆踊	56	夜なべの藁仕事
26	稲刈(束立刈)	57	町へ肥汲みに
27	稲刈積み	58	お寵愛
28	秋の台風	59	根布のいただき
29	驟雨	60	花嫁(人力車)
30	田ん圃扱き	61	煎りん菓子
31	稲扱きの帰り道		

展示作品一覧



12 共同田植



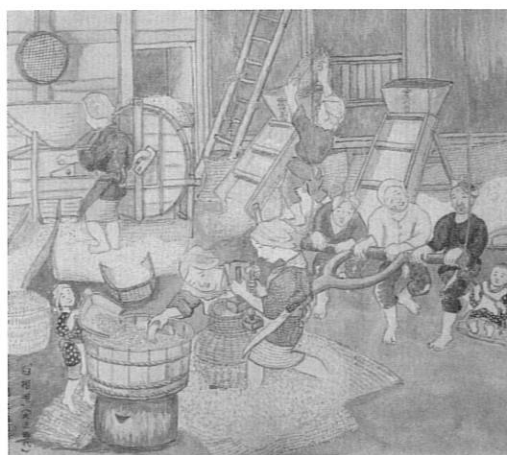
8 水苗代の床づくり



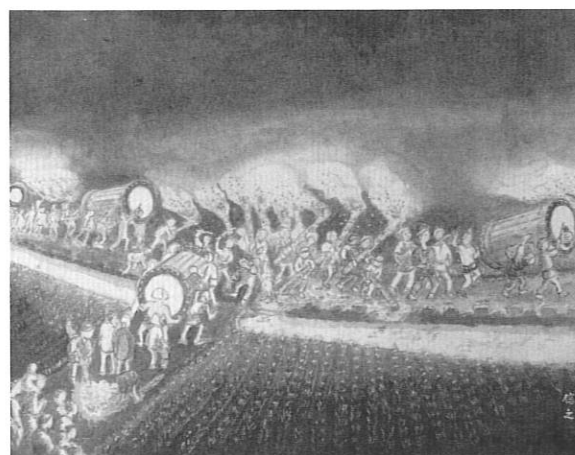
17 ざっこすき



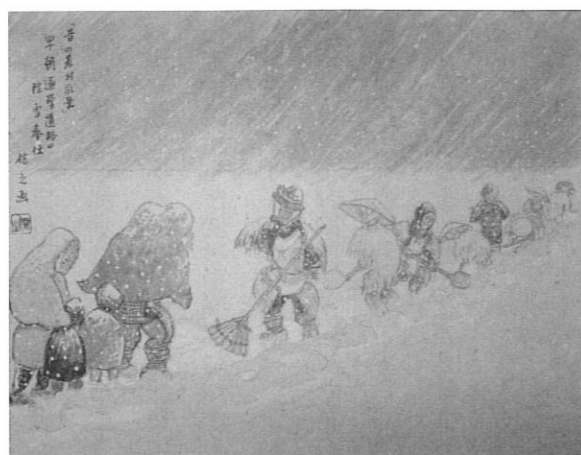
16 莫塵帽子 (学童)



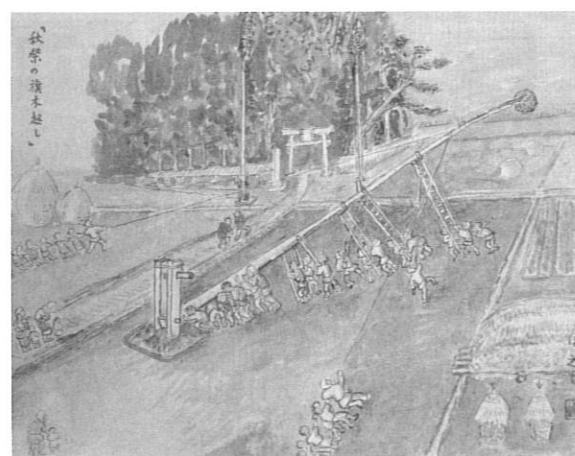
44 白摺唄



23 虫送り



52 学校みちの雪除け



48 秋祭りの旗本起し

白山市立博物館 企画展

企画展

はくさん桜伝説

―長基コレクション・北陸の
桜博士が愛した桜図の世界―

平成28年4月2日(土)

～4月17日(日)

北陸の桜博士 長基健治が収集し

たコレクションのなかから、「桜図
の世界」を紹介する恒例の展示で

す。長基コレクションは長基健治が

収集したのですが、江戸時代の重

要な桜画図譜の大部分は、東京大学

で植物学の権威であった三好学博士

(一八六一～一九三九)のコレクショ

ンを引き継

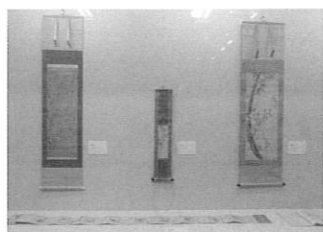
いだもので

す。今回の

展示でも三

熊花 八重

桜図、三熊



三熊派の桜図

思考 花鑑等 桜の花のみを描き続
けた江戸時代中期の画家集団 三熊
派の作品を中心に33点を展示しまし
た。

企画展

松任惣中展

平成28年5月28日(土)

～7月18日(月・祝)

松任町の初見史料とされるポルト

ガル国立図書館所蔵「加賀松任惣中

言上書」の精密なレプリカ(複製品)

をはじめ、松任町町年寄役青木家文

書・御旅屋文書・松任町の絵図や

かつて松任

町の産業で

あった藍染

の製品・型

紙を展示し

近世松任町

を紹介しました。



松任惣中展 展示風景

企画展
ジオパークで見る日本の地質
in白山手取川ジオパーク

平成28年7月30日(土)

～10月16日(日)

地質標本館2015夏の特別展

「ジオパークで見る日本の地質」の

展示ポスターを借用し、全国のジオ

パークをパネルで紹介する企画展を

開催しました。

「噴火する」「マグマができる、

たまる」「マグマができる、あがつ

てくる」などのテーマごとに国内の

ジオパーク

が解説され、

日本列島の

とても変化

に富んだ美

しい景観や

それをつくり出した地球の活動を知

ることができるようになっています



全国のジオパークからの鉱物

す。北海道白滝の黒曜石、アポイ岳
のかんらん岩、桜島の火山灰など実
物の鉱物等を展示しました。白山手
取川ジオパークのコーナーでは白山
市内で採集した岩石を展示し、オル
ソーツアイトや礫岩、砂岩、泥岩、
片麻岩等実物の鉱物を実際にさわっ
て観察してもらうようにしました。
桑島化石壁とその産出化石も紹介し
ました。

企画展

屏風でみる郷里「はくさん」

ゆかりの絵師たち

平成28年10月29日(土)

～12月18日(日)

白山市ゆかりの絵師・画家のなか

から村山翠屋・金子鶴村・梶野玄

山・蕪城秋雪、原峯水・宮岸長司を

紹介しました。梶野玄山は四条派と

鈴木派を学び、花鳥図を得意とした

松任出身の画家です。宮岸長司は明治三六年（一九〇三）、宮丸町生まれ、金城画壇に多く出品、日本画院、日展等でも活躍しました。金子鶴村（二七五九〜一八四〇）は近世後期に活躍した鶴来村の出身の儒学者・文人。南北二宗を合わせた精緻な画風で知られます。原峯水（本名 久

二）は大正10年（一九二二）、旭村八田中生まれ、加賀友禅の伝統的技法をふまえ独自の技法を採り入れ、幽玄・幻想的な表現で自然の中に題材を求め続けました。村山翠屋（一八一八〜一八九〇）は画を山本梅逸に学び、特に花鳥図の作品が多く残されています。蕪城秋雪は天保十一年（一八四〇）、松任出身の南画家として活躍、山水図を多く残しています。



展示風景

八田中生まれ、加賀友禅の伝統的技法をふまえ独自の技法を採り入れ、幽玄・幻想的な表現で自然の中に題材を求め続けました。村山翠屋（一八一八〜一八九〇）は画を山本梅逸に学び、特に花鳥図の作品が多く残されています。蕪城秋雪は天保十一年（一八四〇）、松任出身の南画家として活躍、山水図を多く残しています。

企画展

くらしと道具の

うつりかわり

―大正・昭和・平成をくらべる―

平成29年1月7日（土）

3月20日（月・祝）

小学校3年生を対象とした社会科学習「むかしのくらし」の学習支援のための毎年、開催している企画展です。今年は新たに囲炉裏のある居間の再現展示を行いました。昭和30年代の居間の再現では4畳半にちやぶ台等を設置して中に入って体験できるようにしました。これまで

どおり道具は用途別に（1）料理する、（2）明るくする、（3）暖かくする、などのテーマにわけて展示しました。「おはじき」、「おてだま」「めんこ」等の昔の遊びの体験できるようにしています。道具や昔の遊びのイラスト作成してより理解しやすいようにしています。また学校見学



昭和の居間再現展示

時には、道具の解説は、全体対してプロジェクタでまとめて行ったり、後、判別に分けて、見学してもらい、自由に調べる時間を作るようにしています。

小学生だけでなく一般の方見学してもらえように例年、企画展として実施しています。より理解しやすい展示にしていきたいと思っています。

公民館協力企画

出張パネル展

博物館が所蔵する写真等を出張して展示する企画です。

平成28年度は、山島公民館と旭公民館の文化祭での写真展示に協力しました。

①山島公民館

平成28年10月29日（土）

10月30日（日）

松任町山島

出張所、山島

農協米倉倉庫、

東南小学校山

島教場看板、昭

和51年山島こ



山島公民館での写真展

ども相撲大会など23点を展示しました。

②旭公民館

平成28年11月5日（土）

11月6日（日）

旭公民館の

写真展示協力

「旭記憶遺

産」旭公民館、

旭小学校、旭小

学校、旭保育



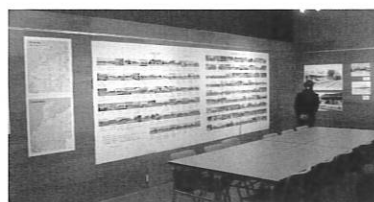
旭公民館での写真展

所、旭村役場等87点を展示しました。

出張パネル展 北陸線の写真展

平成29年2月5日(日)

～2月17日(金)



北陸線の写真展風景

2月10日の浅川マキ美川駅レコードライブに合わせ美川37(みんな)カフェにて北陸線の駅、トンネル、

橋梁の写真のほか小舞子駅等の美川関係の鉄道写真を展示しました。

スポット展示

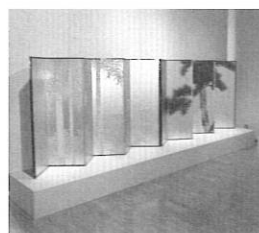
白山市立博物館では大量の資料を収蔵しているが、展示する機会が少ない資料が多くなっており、できるだけ多く収蔵資料を展示公開するためスポット展示を開催しました。

①屏風で見る郷里はくさんの

絵師たちー松任編ー

平成28年5月28日(土)

～7月18日(月・祝)



梶野玄山「松竹園屏風」

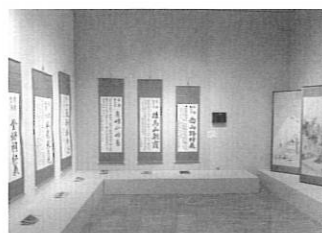
松任地域出身の絵師・画家梶野玄山、蕪城秋雪、

原峯水の屏風作品を展示しました。

②鶴来八景

平成28年7月30日(土)

～8月31日(水)



鶴来八景石碑原書等の展示

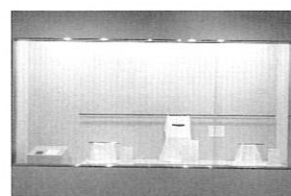
一ノ宮・鶴来地域に建てられている鶴来八景の石碑の原書並びに

鶴来八景にちなんだ作品を展示。

③加州清光

平成28年10月29日(土)

～12月18日(日)



「加州清光」展 展示風景

オンラインゲームで人気キャラクターとなった「加州清光」の刀剣・槍などを展示しました。

コーナー展示
ジオパークの大地を
作る石

企画展「ジオパークで見る日本の

地質in白山手取川ジオパーク」の展

示物の中から白山市内のものを中心



白山市内の鉱物等のコーナー

に特別展示室内に実物の鉱物にふれられるコーナー展示を設置しました。

ミニコンサート

平成28年4月29日(金)

白山市立博物館 イベント行事



第一部 レコード鑑賞

ソプラノ・フルートを藤井ひろみさんが演奏されました。ペルゴレー

ラフォル・ジュルネ金沢2016 in 白山の関連事業として、ミニコンサートが実施されました。白山市立博物館てつどうの広場にて「響き」と題して第一部「真空管アンプで聴くレコード鑑賞」ではヴィヴァルディの四季やモーツァルト、ブラームス、ドボルザーク等、7曲を1時間15分にわたり鑑賞しました。

第2部「ヴァイオリンとフルート」

ではヴァイオリンが大村一恵さん、

ジ、エルガー等9曲が演奏され、約90名の来場者が演奏に聞き入りました。

てつどうの広場 模型電車運行10周年

毎月第3日曜日

毎月第3日曜日には白山市立博物館1階のてつどうの広場に設置されている鉄道模型ジオラマにて模型電車の運行を行っています。運行時間は午前10時から午後3時までです。

小学生以下（3歳以上）のお子さんで希望者に「てつどうのひろば うんこうきつぷ」を配布しています。

平成27年度のうんこうきつぷは北陸



新幹線金沢開業を記念して白山総合車両所をスタートして東京駅に至る仕様でした。平成28年度は逆ルートとなり、東京駅を「ふりだし」に「白山総合車両所」がゴールとなり、同じく駅名のシールを毎月配布しました。シール5枚（5か月）以上の貼付で年度末に粗品を差し上げています。

平成29年度は北陸本線を金沢駅をスタートして大阪駅に到着するコースになります。シールも新しいものに変更になりますのでお楽しみに。

歴史講演会 松任町の成立と 町年寄青木家

平成28年5月28日（土）

企画展「松任惣中展」の連携企画として歴史講演会を開催しました。白山市福祉ふれあいセンターを会場に金沢学院大学名誉教授 東四柳史

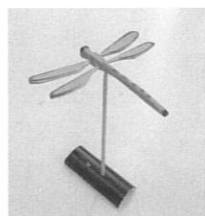
明先生にご講演いただきました。江戸時代を通じて松任町の町年寄をつとめた青木家に残された青木家文書を中心近世の松任を解説いただきました。

先生が携わられた石川県立図書館編「加賀松任 青木家文書目録」の作成のエピソードをはじめ、青木家文書の構成。青木家の歴代当主その略歴。江戸時代の隣保組織である十人組をはじめ、その代表である組合頭や職業構成。中世文書が16点も所在するのは珍しいことなどが紹介されました。

夏休み工作教室

平成28年8月3日（木）

今年も恒例の夏休み工作教室を開催しました。白山市まちの先生 松田哲章先生を講師に竹でトンボをつくりました。



工作教室で作成した
トンボの模型

また紙飛行機もつくって松任公民館体育

館で飛ばしました。松田先生は紙飛行機の競技会で全国大会に出場するほどの腕前であり、先生の指導のもとみんなで飛ばして遊びました。

講演会 ジオパークで化石が みつかるのはなぜ!?

平成28年8月5日（金）

企画展「ジオパークで見る日本の地質 in 白山手取川ジオパーク」の関連企画として講演会を開催しました。講師はアジア太平洋ジオパークネットワーク諮問委員産業技術総合研究所地質情報研究部門の渡辺真人さんです。

小学生から高校生までを対象に20名が参加しました。化石がでやすい

いのはどちらか。2択形式のクイズで参加者の児童生徒の皆さんと言わしながら化石やジオパークについて学びました。

化石調査体験

平成28年8月5日(金)

8月6日(土)



化石調査体験

白山市白
峰化石調査
センター化
石調査員
大塚健斗さ

んの指導のもと桑島化石壁から取り出された岩石を割って化石を探しました。

1億3000万年前から1億2000万年前の地層から取り出された岩石からは植物や貝の化石がたくさん見つかります。めずらしい亀の化石を見つけた人もいました。

た。二日間で63名が参加しました。

ナイト・ミュージアム 銀河鉄道の夜

平成28年9月10日(土)



ナイトミュージアム

昨年に引き続きまで、てつどうの広場を夜景バージョンにして夜行列車の運行を行いました。午後7時まで開館延長して、約170名が来館しました。

てつどうの広場 模型電車運行10周年

平成28年第11月20日(日)

てつどうの広場10周年記念イベントを開催しました。



出発式の様子

出発式のあと、小学生以下のお子さん
先着50名の記念品を贈呈し

たほか、H0ゲージの運行、プラスチック製模型電車を組み立て走行させる体験できるコーナーも設置しました。約700名の方にご来場いただきました。

公開セミナー 白山民具の次世代への 継承をめざして

平成28年11月26日(土)

平成27年度に引き続き白山市が所蔵する民具を調査し活用する事業として文化庁の補助をうけて白山民具教材パックの開発と活用による次世代型郷土文化教育普及事業を実施します。公開セミナー「白山民具の次世代への継承をめざして」を開催



ワタクリ体験

いたしました。午前中は「民具を使った体験

ワークショップ」として元能美市立博物館学芸員 山内千之さんを講師に小学生を対象にワタクリや洗濯板・火鉢等の体験を行いました。

午後からは民俗学研究で著名な神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所の佐野賢治先生に「ものけ姫」から見た日本文化・草木国土悉皆成仏」と題して講演いただいたあと「白山民具資料の継承と活用に関して」と題してパネルディスカッションを行いました。

パネリストには佐野賢治先生と合同会社AMANE業務執行社員 堀井美里さん、村上和生雄当館学芸員が加わり、会場皆さんからもご提案をいただきながら白山市の民具について話しあいました。

浅川マキ美川駅

レコードライブ

平成29年2月10日(金)

白山市(旧美川町) 出身の歌手

浅川マキは70年代、日本のミュージックシーンにおいて新たなブルースの世界を開き大きな影響を与えた女性シンガーで、その優れた歌唱力と自由な表現は今なお多くの人を魅了しています。

そんな彼女の世界観を多くの方に知ってもらおうとJR美川駅内37(みんな)カフェにて1日かぎりのレコードライブを開催しました。

また西田徳子さん(市演劇協会)



浅川マキレコードライブ

による浅川マキの著作「ロング・グッドバイ」の朗読も行いました。

2月11日には

金沢模型倶楽部の協力によるNゲージ模型電車の運行も実施しました。

古文書講座(中級)

平成29年2月4日(土)・2月18日(土)

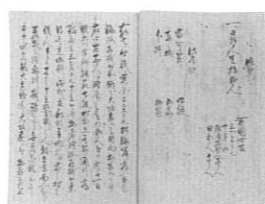
3月4日(土)

例年のとおり松任郷土研究会の真山武志さんに講師をお願いしました。

今年の読解史料は当館が所蔵する「英国人大坂表江罷越候一件」です。

慶応三年(一八六七)、日本海側の貿易港選定のため七尾港を調査にきていたイギリス人が陸路、大阪へ向かう途中と松任を通過したときの記録で7月15日にイギリス人

アーネスト・サトウ他が松任 聖



今回のテキスト
「英国人大坂表江罷越候一件」

興寺で昼食をとりました。今年は一五〇年目の節目にあ

たり地域の歴史にふれるよい機会となりました。

公開セミナー

白山ろくの狩猟と民具

平成29年3月5日(日)

白山民具教材パックの開発と活用

による次世代型郷土文化教育普及事業の平成28年度、2回目の公開セミナーを開催しました。「白山ろくの狩猟と民具」をテーマに石川県立自然史資料館長 水野明憲さんに「狩

が変わった、動物が変わった」、石川県立白山ろく民俗資料館長 山口

一男さんに「かんじき」にみる白

山ろくの生活」と題して講演いた

いた後、熊猟がおこなわれていた中宮地区、白峰地区の狩猟経験者の聞き取り調査の映像を編集したものを

「狩猟インタビュー上映」として上映しました。パネルディスプレイ

ンでは今回の調査を担当した合同会社AMM 研究員 上田啓未さんをコーディネーターに、ご講演いただ

いた水野明憲さん、山口一男さんに狩猟経験者のNPO法人白峰まちづくり協議会理事長 織田捷二さん、石川県猟友会白山支部長 北村秀紀さんが加わりお話いただきました。

刀の手入れ教室

平成29年3月18日(土)

今年も恒例の刀の手入れ教室を実施しました。講師は日本美術刀剣保存協会刀剣等指導員で石川県支部理事の小浦宗五郎さんです。

小浦さんの実演の後、10名の参加者の皆さんそれぞれに実物の刀剣を手にして手入れ方法を体験しました。今年度の教室では博物館が所蔵する加州清光作の脇差ほかを使用しました。

平成29年度 白山市の博物館・美術館 展示・行事予定

事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
白山市立博物館	企画展「農村画家 藤井信之 -農村風俗画の世界-」 企画展「伝説の白山」 -金米健介が描いた 白山の物語- 特別展 「白山下山仏と 加賀禪定道」 企画展「化石壁発見 -日本地質学の原点 ライン博士の功績-」 博学連携展示 「くらしと道具のうつりかわり」 ◆毎月第3日曜日 模型電車運行 ◆8/2 夏休み工作教室 ◆10/29 11/12 講座「加賀禪定道」 ◆2/3 2/17 3/3 ◆3/10 古文書講座 刀剣鍛錬所見学会											
千代女の里 俳句館	千代女四季の画賛 西のぼろが描く 白山物語 白山の俳句と写真展 俳句協会 会員展 俳句交流展 俳句の 愉しみ展 ◆立夏展示替 ◆記念講演会 ◆立秋展示替 ◆立冬展示替 ◆新春展示替 ◆立春展示替											
松任中川一政 記念美術館	春季テーマ展 「中川一政-風景画の魅力-」 夏季テーマ展 「中川一政の向日葵 -脈動するタッチを求めて-」 臨時休館 秋季テーマ展 「中川一政の畫像-ムードを描く-」 冬季テーマ展 「中川一政の審美眼 -政コレクション」 第23回花を描こう絵画展 ミニコンサート 4/27 ◎美術館講座 「中川一政文集を読むその6」 6/17土、8/12土、10/14土、 12/9土、2/10土 夏休みキッズプログラム 「油絵を描いてみよう」 7/29(土) 0歳からのファミリー鑑賞会 「ミュージアム・スタート」未定											
石川ルーツ 交流館	白山・手取川災害史展 ミニ展 ◆4/9 篠笛コンサート ◆中旬 親子自然教室 ◆7/2山中節を楽しむ会 中旬 親子自然教室 ◆8/5 ひょうたんづくり ◆8月下旬親子絵画教室 ◆7~8月 石川ルーツを探索しよう ◆下旬 親子自然観察会											
呉竹文庫	熊田家の教科書 山の本展 企画展（内容未定） 企画展（内容未定） ◆下旬 オカリナ演奏会 ◆くれたけを探索しよう ◆白山名茶を飲む 毎月、第1日曜日 あぐら茶会（1月、10月は休み） 第3日曜日 呈茶会（1月5月は休み） 不定期 文化教室茶会											
松任 ふるさと館	音楽祭お茶会めぐり 庭園ライトアップ・コンサート 「七夕夜灯」 庭園ライトアップ・ ミニコンサート 観月茶会・句会 「月見夜灯」 市民茶会 雪見茶会											
鳥越一向一揆 歴史館	加賀の白山燃え候 抜きがたし南無六字の城 ◆歴史セミナー											

※詳細については各館までお問い合わせください。

